

新しい年が始まり、日常生活で新たな取り組みを開始された方も多いかと思います。私も数年前の正月から運動不足解消のため、早朝ウォーキングを始め、途中何度か中断しそうになりながらも、現在まで続けています。寒い朝は、布団から抜け出るために強い意志が必要になりますが、一度屋外に出て歩き始めると、朝の空気のすがすがしさに気持ちがりフレッシュされる感じで、一気にモチベーションが上がります。

さて、昨年は日本が多くの自然災害に見舞われた1年でした。地震に関しても、大阪府北部の地震や北海道胆振東部地震などが発生し、鉄道も大きな影響を受けました。鉄道が地震に対し

て効果的に備えるためには、ハードウェア対策・ソフトウェア対策など多角的で抜けのない対策が求められます。今月号では、地震警報や即時被害予測、また、地盤の揺れの解析法や評価法、さらに構造物応答予測技術や補強法まで、各種の地震対策技術を紹介しましたので、ご参考にしていただければと思います。

来月号の特集は「鉄道総研の国際活動」です。近年の鉄道業界では国際協力が進み、同時に国際競争が激化しています。このような時代に鉄道総研が実施している研究開発、技術支援、情報発信などの国際活動に関して最新の情報をご紹介します。どうぞご期待ください。(S. Y.)